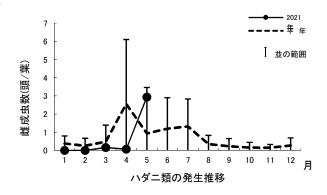
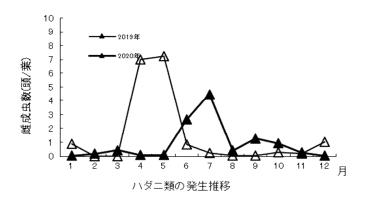
作物	マンゴー		地域	宮古群島	
病害虫名	① ハダ二類				
調査結果	5 月の発生量(平年比)	项		The same	
予報	5 月からの増減傾向	\rightarrow		シュレイツメハダニ	
	6 月の発生量(平年比)	並~やや多			
	予報の根拠	平年の発生量の推移(→)			

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移



・発生種:シュレイツメハダニ

・発生ほ場率:60.0%(平年値:36.7%)

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

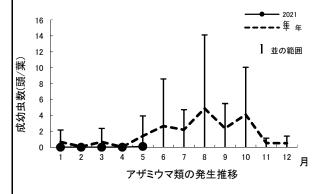


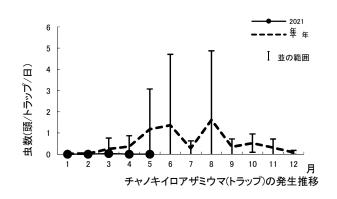
ハダニの寄生による葉のかすれ症

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	② チャノキイ	コアザミウマ		
調査結果	5 月の発生量(平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	7		
	6 月の発生量(平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移(♪)		

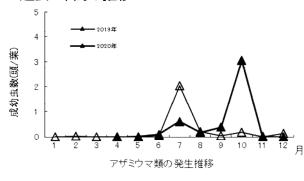
調査結果

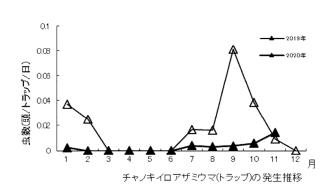
今年と平年の推移





過去2年間の推移





・トラップにおける発生施設率:0%(平年値:56.0%)

防除のポイント

- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
- ・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

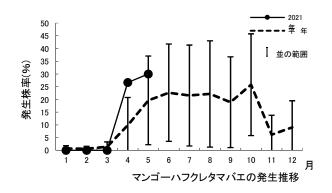


ナガエコミカンソウ

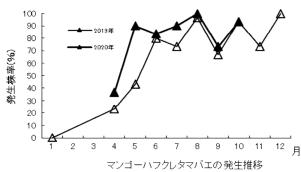
作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	5 月の発生量(平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	7		
	6 月の発生量(平年比)	並~やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移(→)		

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



·被害新梢率:16.7%

・発生施設率:80%(平年値:40.9%)

防除のポイント

- ・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、 地面に落下して蛹化する。
- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。